

「2017年度第4回ファカルティセミナー」を開催しました

2018年2月8日16時半より、経済学部本館22講義室において大阪産業大学経済学部准教授 藤井陽一朗氏による「若年期の予防行動誘発に関する自家保険および自己防衛の考察:生活保護の観点を含めた経済学的分析」をテーマとした研究会が行われました。

藤井先生からは、海外で導入例のある Health Saving Account を日本にも導入することによって、生活保護に付随するモラルハザードの問題を軽減できるという分析結果について報告がありました。

参加者から活発な質問が相次ぎ、とても有意義な議論が展開されました。



報告する藤井先生